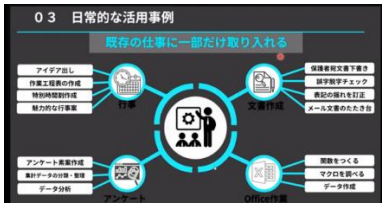
えひめＡＩ活用事例発表会

AI×学校現場　効率化 ☝ 創造力 ☝



ＡＩが飛躍的に進化する中、教育の現場においてもその活用は大いに注目されています。ＡＩは文章や画像、動画の生成からデータ分析、プログラミングまで幅広い分野で利用可能となっており、**学習や校務の効率化（＝時間の創出）**や、子供の**創造力の向上**において大きな可能性を秘めています。

そこで、研修の一環として、7月31日に**「令和6年度えひめAI活用事例発表会」**を開催しました。小・中・高校の事例発表から、一部を紹介します。

〔活用例〕

- 議題に対して**異なる立場からの意見**を知るための「円卓会議プロンプト」
- 言葉・画像・動画などをマインドマップ化して**思考を整理**する手法
- 情報共有アプリやＡＩテキストマイニングを活用した**集めた意見の可視化**
- ChatGPT や Bing Chat 等、**複数の生成ＡＩを活用**したシナリオ案の**比較・検討**
- 児童生徒が言葉にして表現した**イメージを生成ＡＩで画像として可視化**
- Canva 等を使って**劇の背景画を生成**、その画像をプロジェクターで投影

実践者からは「生成ＡＩで作成した絵を授業等で活用することで、子供の理解を一層促すことができた。」「生成ＡＩを活用することで、**自分の理想や子供の思いを実現**することができた」という感想がありました。生成ＡＩは取り入れ方や場面により、**効率的・効果的に授業に活用できる**ことがうかがえます。

なお、本発表会のアーカイブ動画の配信について、別途パスワード等を各学校へ案内していますので、ぜひ多くの先生方に見ていただきたいと思います。

ふれあい広場

まずは使ってみる　先生方の AI リテラシー ☝

ただ、**AIはあくまでもツール**であり、**各教科等で育成すべき資質・能力が主軸にある**ことを忘れてはいけません。特に、学習活動での生成ＡＩの活用については、慎重に考える必要があります。そのためには、令和５年７月に文部科学省より公表された「初等中等教育段階における生成ＡＩの利用に関する暫定的なガイドライン」や研修等を通じて、スキルアップに努めるとともに、**ＡＩリテラシーの向上**を図ることが求められています。これを機に、先生方自身がＡＩを前向きに取り入れ、業務の負担を軽減しながら、子供とともに創造的な学びを楽しんでみてはいかがでしょうか。ぜひ、ＡＩを活用した新しい学校教育の姿を、一緒に模索していきましょう。